くにさき少年少女 発明 クラブ

事務局発行

# 発明クラブ通信



## きれいだなあ

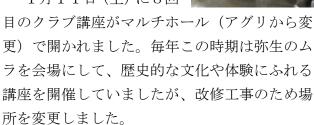
### 第8回クラブ講座

#### 「世界で一つ!おりどめを楽しもう!!」

講師 発明クラブ

#### 副会長 丸尾 修さん

1月11日(土)に8回



今回は古くからつたわる「おりぞめ体験」に チャレンジして、日本の伝統的な文化を学ぶこ とにしました。講師は弥生のムラにも勤務して



いる丸尾副会長(写真左)に依頼しました。時間がかかるため事前の準備が大変な内容ですが、おりでかを美しさを学ん

で、今後に活かせればと思います。

- ■1) おりぞめとは、しょうじ紙をおって色水につけて「もよう」のついた紙をつくる方法です。 どんなもようになるかは、おり方やそめかたによってかわってきます。
- ■2) おり方は、四角おり・ふつうおり・正 三角形おり・ふくざつおりなどがあります。ま ず簡単な四角おりにチャレンジ。びょうぶのよ うにおったしょうじ紙を、正方形の形におって いきます。最後に輪ゴムでとめておきます。次

にふつうおりをおこないました。同じようにびょうぶおりの紙を、二等辺三角形になるようにおっていきます。

■3)次は正三角形おりにとりくみました。最初おるときに、正三角形になるように30度の角度にしていきます。あとはふつうおりと同じおり方です。





(↑みなさんとても集中しておっていました。)



(←最後の輪ゴムどめが、むつかしなあ。)

■4) おってしまった ら、いよいよ色水につ けてそめていきます。

#### <注意点>

◆手につくと色がと れないのでビニール手 ぶくろを必ずつけます。



(クどの色にしようかな?)

- ◆色水につける時は、割りばしをつかってお もにかどっこに色をつけますが、一度紙コップ の中にもどしてから持ちかえて、またつけてい きます。一度にすると落としたりするからです。
- ◆ゴムをはずすときも、紙コップの中でとります。ゴムがはねて色がとびちるのを防ぐことができます。

注意点をまもりながら、順番に色つけがおわりました。この後は、新聞紙のうえにおりぞめ した紙をひろげていき、かわかします。

さあ、どんな色にそまったか楽しみです。







皆さん、講師の話をよく聞いて、とてもきれいなおりぞめが完成しました。最後に、感想発表をお願いいたしました。

○「おったり、ゴムでとめたりするのがむつかしかった。」○「いろんな色ができてとても楽しかった。」○「色水につけて、いろんな色をそまるのが楽しかった。」

### おりぞめの歴史を知ろう!

おりぞめは、1953年に版画家の武藤六郎(むとうろくろう)が知人から1枚のそめ紙をもらい、その美しさに感動して始めたそうです。自分の持っていた和紙(版画用)でそめてみたそうです。おり方はいろいろで、びょうぶだたみ(アコーディオンおり)をつくり、その棒のようになった紙を、正方形や正三角形などにおり、手のひらにのるていどの大きさにしたそうです。それを染料(せんりょう)につけていき、紙を広げると連続した美しい模様ができあがり感動したそうです。

武藤は、この方法を利用して、紙子(かみこ)やびょうぶなどのすばらしい作品を完成させていきました。今は、工芸品の一つとしてこの方法が知られています。

みなさんも、自分で新しいおりぞめにチャレンジしてみませんか?

#### 次回の発明クラブ~今年度最後です。たくさんの参加を!

- ■日 時・場 所~ **3月8日**(土) 9:30~ アグリホール
- ■内 容~ **閉講式**(修了証・記念品など授与)、~すばらしい記念品があります。

おもしろものづくり~はつでんきを作ってみよう(へんこうすることもあります)

.